

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	虐待防止事業（障がい者）			事業番号	19-103-3
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	黒石 正幸	障がい福祉課	鎮目 光章	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	9	一人ひとりが大切にされるまちをつくる	
		施策	19	人権・男女共同参画社会の推進	
予算事業名	障害者虐待防止事業費				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成24年度 ~		終了年度	
関連法令等	障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律				
国・県の計画等	かながわ障害者計画			計画期間	令和元年度～令和5年度
関連個別計画	伊勢原市障がい者計画			計画期間	平成30年度～令和2年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	平成24年10月から障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律が、平成28年4月から障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されました。しかし、家庭、施設などによる虐待は後を絶たず、より一層の障がい者権利擁護対策が望まれています。				
目 的 (何をどうしたいのか)	障がい者の虐待の防止、早期発見、早期対応など適切な対応に向けた普及啓発を行います。伊勢原市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議を実施し、関係機関との連携強化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	身体・知的・精神の障がい者				
事業内容 (手段、手法など)	・伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会権利擁護部会を活用し、一般市民、相談支援事業従事者、福祉施設従事者、障がい者雇用者等に対する障がい者虐待に関する啓発事業を実施します。 ・伊勢原市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携体制の強化を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	研修会の開催	2回	2回	2回	
	虐待防止ネットワーク会議の開催	全体会1回 実務者会議2回	全体会1回 実務者会議2回	全体会1回 実務者会議2回	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	障がい者虐待防止研修会等参加者数	100人 (平成29年度)	120人	120人	120人



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	虐待の発生予防及び早期発見・早期対応をするためには、繰り返し啓発を行うことが重要です。令和元年度もネットワーク会議において関係機関との連携体制を強化するとともに、広く一般市民に対する啓発と関係事業所の職員を対象とした研修会を開催していきます。				
実施方法 〔選択・記入〕	☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外				
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者		
	☐ 補助金		補助先		
	☐ その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	研修会の開催	2回	2回		
	虐待防止ネットワーク会議の開催	全体会1回 実務者会議2回	実務担当者会議2回		
実施した取組の内容	・虐待防止啓発用パンフレットの作成及び配布 ・虐待防止に関する啓発活動の実施 ・障害者週間の街頭キャンペーンの実施 ・一般市民及び支援者向け研修会の実施				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	障がい者虐待防止研修会等参加者数	100人 (平成29年度)	94人	98人	

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計 (a)		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
	内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
	国県支出金の内容		地域生活支援事業費補助金 補助率:国1/2、県1/4											
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無		前回の改定時期									
		その他												
	人件費	正規職員	0.3	人	2,553	千円	0.3	人	2,610	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.3	人	2,553	千円	0.3	人	2,610	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)		2,553		千円	2,610		千円	0		千円				
単位当たりコスト	対象数	定義	参加者数		単位	参加者数		単位			単位			
		対象数	94		人	98		人						
			総事業費／対象数	27,160		円	26,633		円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記 判断理由	高齢者と障がい者の虐待を一体化した「高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク」において、関係機関と情報共有を図り、一般市民及び支援者向けに講演会を実施するなど連携しながら事業に取り組みました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☒ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☐ 一律に比較できない事業	B	他都 市の 事業 内容 等	県内各市が虐待防止センター等を設置し、関係機関と連携を図りながら虐待防止に関する検討や啓発活動等を実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記 判断理由	研修会及び講演会の開催により、支援者の意識の向上を図るとともに、街頭キャンペーン等の啓発活動により、制度周知を図りました。また、関係機関と連携しながら虐待に関する取組について検討を行い、意識の共有化を図りました。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記 判断理由	研修会等に多数の方が参加し、支援者の資質向上につながる機会として実施することができました。また、高齢者及び障害者の虐待について一体化した検討を行い、地域における関係機関の連携強化が図られ、虐待の早期発見や未然防止につながっています。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長 による 今後の 方向性の 判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推 進上の 課題	高齢者虐待防止と障害者虐待防止の連動性を高め、虐待に限らず、広く権利擁護の考え方を浸透させる必要があります。
令和2年度取組方針		虐待の発生予防及び早期発見・早期対応をするためには、繰り返し啓発を行うことが重要です。引き続きネットワーク会議において関係機関との連携体制を強化するとともに、広く一般市民に対する啓発と関係事業所の職員を対象とした研修会を開催していきます。		
所管部長による総評		市民の皆さんが安全に安心して生活する中で、虐待は、絶対にあってはならないことから、関係機関と連携を図りながら、虐待防止に向けた取組を継続して実施いたします。		